

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

COMET

ILS-444FS/-LM

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、弊社営業所または販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる ●その他の異常や故障があるとき 	

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台 4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5788	FAX.(03)5916-5875
東京営業所 コマーシャル課	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5789	FAX.(03)5916-5876
東京営業所 ストロボクニク課	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5794	FAX.(03)5916-5878
東京営業所 名古屋連絡所	〒463-0813 名古屋守山区吉根南 501 101号室	TEL.(052)737-3175	FAX.(052)736-2841
大阪営業所	〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
大阪営業所 ストロボクニク課	〒531-0075 大阪市北区大淀南 2-6-15	TEL.(06)7658-1188	FAX.(06)7658-4848
福岡営業所	〒816-0912 大野城市御笠川 4-11-19 VI-2号室	TEL.(092)504-9005	FAX.(092)504-9006
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5786	FAX.(03)5916-5872
産業機器部	〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-47-1	TEL.(03)5916-5787	FAX.(03)5916-5874

URL <https://www.comet-net.co.jp> E-mail mail@comet-net.co.jp

2111-0010A-2



はじめに

このたびは、コメットILS-444FS電源部／ILS-444FS-LM電源部をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、調光範囲がFULL から1/128までと幅広く、充電時間はFULL(400Ws)で約1.2秒と高速チャージです。

別売のRS ミニレシーバーを接続することで、RS-発信器（別売）を利用した無線シンクロ撮影に対応します。

さらに、ILS-444FS-LM電源部につきましては10種類のライティングパターンをメモリー可能です。別売のRC-T2リモコンを使用することで、ワイヤレスでライティングパターンの切り替えが可能です。なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品

● AC コード	3.5 m	1 本	● 取扱説明書
● アースコード	80cm	1 本	● 保証書
● シンクロコード (ピンジャックタイプ)	80cm	1 本	
● シグナルコード (ILS-D 用)	1 m	1 本	
● ヒューズ	ストロボ用 12A	3 本	
	モデリング用 3A	1 本	
● ライティングデータリスト		5 枚 (ILS-444FS-LM のみ)	

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1 ~ 4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6 ~ 9
4. 操作手順	10 ~ 12
5. 各灯バリエーター / マスターバリエーター	12
6. 発光部モード	13
7. マスターモデリングランプスイッチ / 各灯モデリングランプスイッチ / モデリングランプモードスイッチ	14
8. ロックスイッチ	14
9. サウンドモードスイッチ	15
10. 充電モードスイッチ	15
11. スレープスイッチ	15 ~ 16
12. ライティングパターンの登録・呼び出し	17
13. リモートコントロール機能	18
14. スタジオコントロールボックススイッチ	19
15. 不発光警報	19
16. 過熱警報	20
17. 発光回数カウンタ	20
18. ヒューズ交換	20
19. 保証とアフターサービス	21
20. 仕様	22 ~ 23

1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

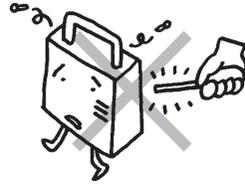
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。十分注意をしてください。



■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



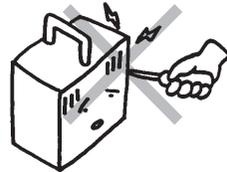
■電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



■電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

感電、ショートによる発火の恐れがあります。



■感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。



■使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



■ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。



■ヘッドは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



■揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



■使用電圧は AC100V (50 / 60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

■ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

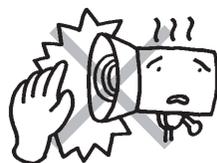


⚠ 注意



■使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



■ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。

■ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



定格品



■落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



■使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取るか、ブレーカーなどを OFF にしてください。

発火、火災の恐れがあります。



2 使用上のご注意とお願い



■調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

■本機で CX-12 バイチューブヘッドやレクト 126 ヘッドの使用はしないでください。電源部やヘッドを壊す恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも 1 ヶ月に 1~2 度は必ず出力を FULL にして通電をしてください。

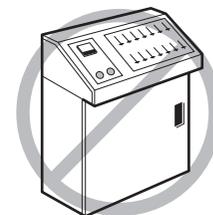
■3 ヶ月以上 (10 ヶ月未満) の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、出力を FULL にして最低 4 時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

■10 ヶ月以上の長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は通電せずに弊社クリニック課による点検 (有料) を受けてください。

長期間ご使用にならなかったストロボ電源部は、通電または発光をくり返すとコンデンサーが発熱し、発火、火災の恐れがあります。

■赤外シンクロ装置 (弊社製) の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光灯から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

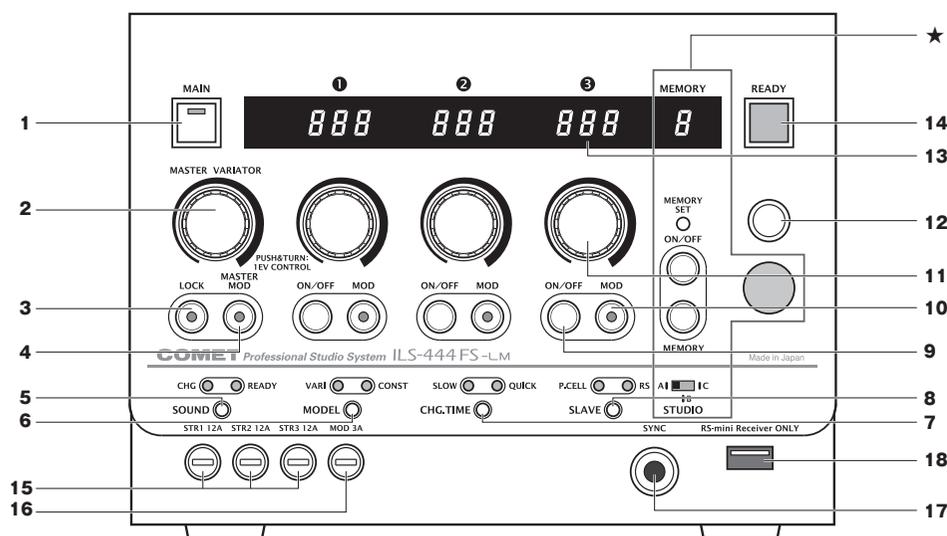
■複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置 (弊社製) で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。



3 各部の名称とはたらき

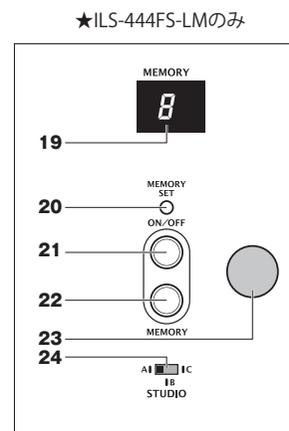
- | | |
|--|---|
| 1 メインスイッチ (MAIN) | AC電源スイッチです。メインスイッチが「ON」のときパイロットランプ(緑)が点灯し、過熱警報作動時に点滅します。 |
| 2 マスターバリエーター (MASTER VARIATOR) | 各灯バリエーター①～③で設定されている出力を1/6EVステップで一括調光します。押し込みながら回すと1EVステップで調光します。 |
| 3 ロックスイッチ (LOCK) | ロックスイッチが「ON」のとき赤ランプが点灯し、バリエーター、各灯スイッチの操作がロックされます。セットされている設定を不用意に変わっても変化しないようにするための、安全スイッチです。 |
| 4 マスターモデリングランプスイッチ (MASTER MOD) | 接続された灯具のモデリングランプを一括ON/OFFにします。スイッチが「ON」のとき赤ランプが点灯します。各灯のモデリングランプスイッチ(MOD)を「OFF」に設定した灯具のモデリングランプは点灯しません。 |
| 5 サウンドモードスイッチ (SOUND) | サウンドモードを「充電中音(CHG)」 「充電完了音(READY)」または「OFF」にします。 |
| 6 モデリングランプモードスイッチ(MODEL) | モデリングランプを「調光(VARI)」 「100%点灯(CONST)」にします。 |
| 7 充電モードスイッチ (CHG.TIME) | 電源容量に合った充電時間を選択します。 |
| 8 スレープスイッチ (SLAVE) | スレープモードを「フォトセル(P.CELL)」 「無線シンクロ(RS)」または「OFF」にします。 |
| 9 各灯スイッチ(ON/OFF) | 各灯の出力を「ON」または「OFF」にします。「ON」にすると出力表示に出力が表示され発光可能となります。「OFF」にすると出力表示にOFFと表示されます。 |

イラストはILS-444FS-LMです



- | | |
|--------------------------------------|---|
| 10 各灯モデリングランプスイッチ (MOD) | 各灯のモデリングランプの設定を「ON」または「OFF」にします。各灯モデリングランプスイッチを「ON」にすると緑ランプが点灯し、マスターモデリングランプスイッチ (MASTER MOD) でモデリングランプを一括ON/OFF操作できます。 |
| 11 各灯バリエーター | 各灯の出力をFULL～1/128まで1/6EVステップで調光します。押し込みながら回すと1EVステップで調光します。 |
| 12 フォトセル | 他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。スレープモードが「フォトセル(P.CELL)」の時に作動します。 |
| 13 出力表示(Ws) | 各出力をデジタル表示します。また、不発光が生じたとき該当する出力表示が点滅します。 |
| 14 レディーランプ(READY) / テスト発光スイッチ | オートエージング機能およびディスチャージ機能作動中は点滅します。充電が完了すると点灯します。テスト発光をするときはランプ部を軽く押ししてください。 |
| 15 ストロボヒューズ (STR1/2/3) | ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。 |
| 16 モデリングランプヒューズ (MOD) | モデリングランプ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。 |
| 17 シンクロソケット | ホーンジャックタイプCRシンクロコード(別売品)でカメラと接続します。 |
| 18 RS ミニレシーバー 接続コネクター | RSミニレシーバー(別売品)を接続します。RSミニレシーバー以外の接続は絶対にしないでください。 |

※19～24はILS-444FS-LM電源部のみの機能です。

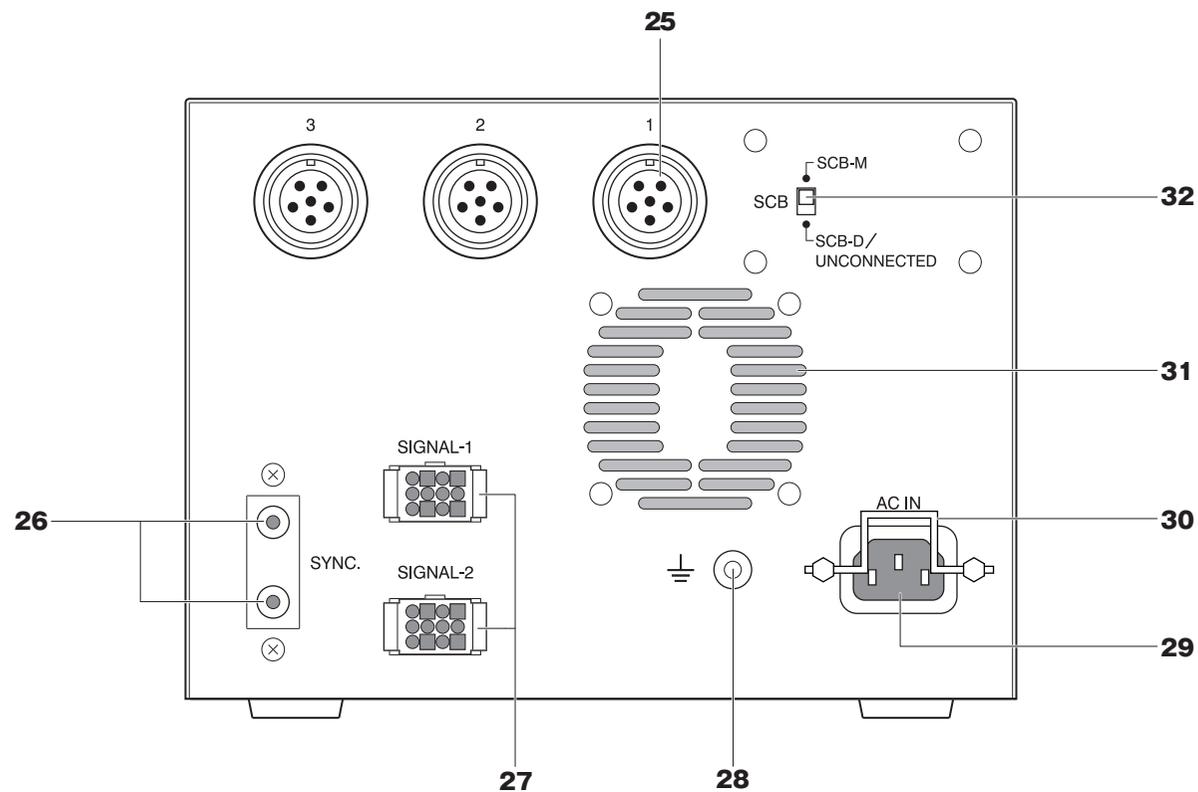


- | | |
|------------------------------------|--|
| 19 メモリーNo. 表示 (MEMORY) | 呼び出したメモリー No.を表示します。 |
| 20 メモリーセットスイッチ (MEMORY SET) | 設定した出力を記憶させるときに押します。約3秒間押し続けると「ピーピーピッピ」とブザーが鳴り記憶します。 |
| 21 メモリーON/OFFスイッチ (ON/OFF) | メモリーを登録・呼び出すとき「ON」にします。 ※1 |
| 22 メモリースイッチ (MEMORY) | メモリー1～10(「0」と表示されます)を呼び出します。 ※1 |
| 23 リモコン/レシーバー | RC-T2リモコンの受光部です。 |
| 24 スタジオセレクトスイッチ(STUDIO) | RC-T2リモコンを使用するとき、リモコンと本体のチャンネルをA～Cのいずれかに合わせてください。 |

※1 ロックスイッチが「ON」のとき、スイッチの操作がロックされます。

- 25** 出力コネクタ1・2・3 ヘッドを接続します。
着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。
- 26** シンクロ端子(SYNC.) 電源部間、またシンクロを外部に取り出すときに使用します。
- 27** シグナル端子
(SIGNAL-1/-2) ILS-SCB-D/Mを使用するとき、各SCBに付属のシグナルコード
で本機と接続します。
※ILS-SCB-Mシグナルコードは、変換コード(別注文品)の結線
加工が必要です。

- 28** 接地端子(アース) 感電を防止するため、必ず接地してください。
- 29** ACコネクタ (AC IN) ACコード(付属品)で電源部とACコンセントを接続します。
- 30** ACプラグ抜け止め ACコードの抜け落ちを防ぎます。
- 31** 吸気口 冷却ファンの吸気口です。ふさがないでください。
- 32** SCBスイッチ(SCB) 接続するSCBに合わせて設定します。
※SCBを使用しない場合は、SCB-D/UNCONNECTEDに
設定します。

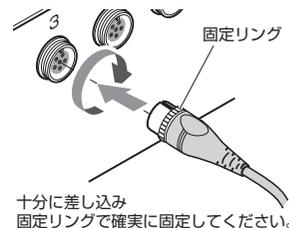


4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部に接続してください。

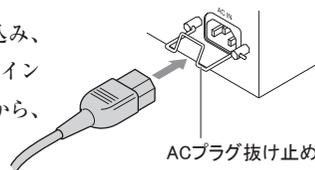
使用するヘッドのコネクターを電源部の出力コネクターに十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。

- 複数台の電源部を使用する場合、それぞれの電源部リヤパネル面のシンクロ端子を付属のシンクロコード（ピンジャックタイプ）で接続してください。

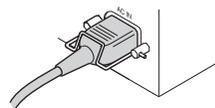


■ 2. ACコードを接続してください。

ACコードをACコネクターへ接続します。十分に差し込み、ACプラグ抜け止めが確実に固定します。電源部のメインスイッチ(MAIN)が「OFF」になっているのを確かめてから、ACコンセントに接続します。



- 必ずアースの接続をしてご使用ください。

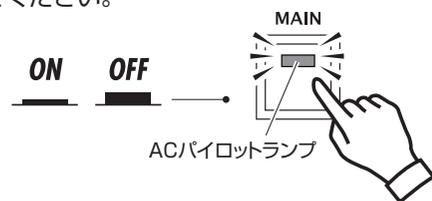


■ 3. SCBスイッチを設定してください。

☞ 詳細は 19 ページをご参照ください。

■ 4. メインスイッチ (MAIN) を「ON」にしてください。

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。
ACパイロットランプが点灯して、オートエージング機能が始まります。



オートエージング機能は各灯スイッチのON/OFFにかかわらず、すべての回路がFULL出力(400Ws)まで充電されます。

エージング中は、テスト発光スイッチ (READY) が点滅します。

ILS-444FS・・・約1分間

ILS-444FS-LM・・・約20秒

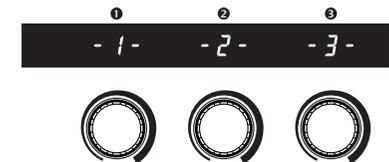
完了後は各回路は設定された出力値に充電されます。

- オートエージング機能は作動中にパネル面のスイッチを操作することで終了することが出来ます。

■ 5. 接続する発光部の種類に合わせて、発光部モードを設定します。

接続する発光部の種類に合わせて、①～③各灯の発光部モードを設定します。

☞ 詳細は 13 ページをご参照ください。



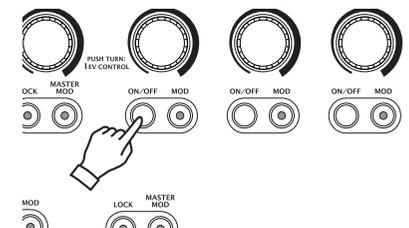
■ 6. 各灯スイッチ (ON / OFF) を押して「ON」にしてください。

使用するヘッドの各灯スイッチ (ON / OFF) を押して「ON」にしてください。

出力表示に数値 (Ws) が表示されます。

- 使用しないヘッドの各灯スイッチを押して「OFF」にしてください。

「OFF」にすると出力表示に OFF と表示されます。

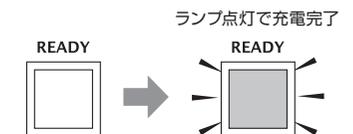


■ 7. 各灯バリエーターで出力の設定をしてください。

各灯バリエーターを回して必要な出力を設定します。

充電が完了するとレディーランプ (READY) / テスト発光スイッチが点灯して発光準備が完了します。

- 出力を下げた場合、ディスチャージ機能が働いたため空発光は不要です。



■ 8. モデリングランプを点灯してください。

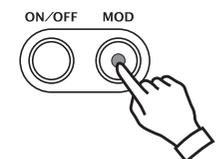
1. マスターモデリングランプスイッチ (MASTER MOD) を「ON」にします。

「ON」にするとスイッチ中央のランプが点灯し、各灯モデリングランプスイッチ (MOD) の操作が可能になります。

2. 各灯モデリングランプスイッチ (MOD) を「ON」にします。

「ON」にするとスイッチ中央のランプが点灯し、該当する発光部のモデリングランプが点灯します。

3. モデリングランプモードスイッチ (MODEL) で点灯モードを「調光 (VARI)」または「100%点灯 (CONST)」に選択します。



☞ 詳細は 14 ページをご参照ください。

■ 9. テスト発光をしてください。

テスト発光スイッチ (READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

■ 10. カメラとのシンクロを確認してください。

シンクロコード(別売)でカメラと接続し、シンクロ発光テストをします。



【ご注意】

- 本番撮影をされる前にご使用のカメラでシンクロ (発光) テストを行うことをお勧めします。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/60秒で使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターの後幕シンクロには発光してもシンクロ (同調) しません。
- フォトセル、赤外シンクロ装置、RS-受信器をご使用になる場合も、本番撮影される前にシンクロテストをおこなうことをお勧めします。

5 各灯バリエーター / マスターバリエーター

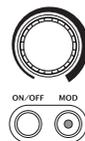
■ 各灯バリエーター

各灯バリエーターは、FULLから1/128までを1/6EVステップで調光します。バリエーターを押し込みながら回すと1EVステップで調光します。



■ マスターバリエーター (MASTER VARIATOR)

マスターバリエーターは、各灯バリエーターで調光設定した出力比を保ちながら、全体を1/6EVステップで調光します。



バリエーターを押し込みながら回すと1EVステップで調光します。

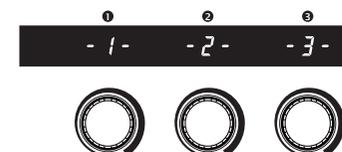
- マスターバリエーターの調光範囲は①～③いずれかの出力が最大もしくは最小になるまでです。
いずれかの出力が最大出力、または最小出力を使用しているときマスターバリエーターは機能しません。
- 出力を下げた場合、ディスチャージ機能が働くため空発光は不要です。

6 発光部モード

■ 発光部モードの設定

接続する発光部に合わせて、①～③各灯の発光部モードを設定します。

1. バリエーター①を押しながらメインスイッチ(MAIN)を「ON」にします。
①～③各灯の出力表示に1～7の数字が表示されます。
2. 各灯のバリエーターを回して下表に対応する発光部の数字に設定します。
3. 出力バリエーター①と②を同時に押すと設定値がセットされます。



【ご注意】

- 発光部モードの設定が接続する発光部と違う場合、調光誤差や不発光が生じる恐れがあります。
- S-3H発光部をご使用の場合、光量1/64以下で光量変動が生じる恐れがあります。
- 下記、発光部モード一覧表以外の発光部をご使用の際は、弊社営業所にお問い合わせください。

■ 発光部モード一覧表

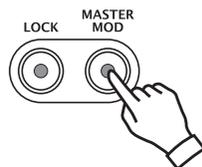
発光部モード	発光部
1	S-3H
2	S-6H
3	RE-35
4	CNL-3N、TFL-1600
5	SF-III
6	S-4H、CB-25H、CAX-32H
7	H-10H

7 マスターモデリングランプスイッチ/各灯モデリングランプスイッチ/モデリングランプモードスイッチ

■マスターモデリングランプスイッチ (MASTER MOD)

モデリングランプを一括ON/OFFにします。

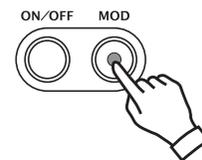
「ON」にするとスイッチ中央のランプが点灯し、各灯モデリングランプスイッチ(MOD)の操作が可能になります。



■各灯モデリングランプスイッチ(MOD)

各灯のモデリングランプの設定を「ON」または「OFF」にします。

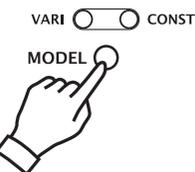
マスターモデリングランプスイッチが「ON」のとき、各灯モデリングランプスイッチを「ON」にするとスイッチ中央のランプが点灯し、該当する発光部のモデリングランプが点灯します。



■モデリングランプモードスイッチ(MODEL)

モデリングランプを「調光(VARI)」「100%点灯(CONST)」にします。

- VARI モデリングランプはストロボ出力 400Ws のとき 100%の明るさとしてストロボ出力に連動して調光します。1/16 以下は 1/16 の光量で一定です。
- CONST 各灯のストロボ出力に関係なく、モデリングランプが 100%の明るさで点灯します。



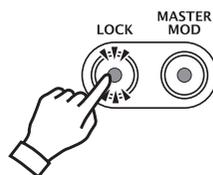
8 ロックスイッチ

ライティングした光量値を、不用意にさわっても変化しないようロックすることができます。

■ロックスイッチ(LOCK)を押して「ON」にします。

ロックスイッチ中央のランプが点灯して、下記の操作がロックされます。

- ILS-444FS / -LM共通
 - ・マスターバリエーター (MASTER VARIATOR)
 - ・各灯ON/OFFスイッチ
 - ・各灯バリエーター
- ILS-444FS-LMのみ
 - ・メモリー ON/OFFスイッチ
 - ・メモリースイッチ (MEMORY)



※ロックスイッチが「ON」の状態でも、RC-T2リモコン(別売)からの操作が優先されます。

9 サウンドモードスイッチ

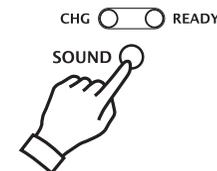
充電の状況をブザー音で知らせます。

■CHG 充電中ブザー(断続音)が鳴り、完了すると止まります。

■READY 充電が完了したとき、ブザーが鳴ります。

■OFF 消音。(モードを示すランプが消灯します。)

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

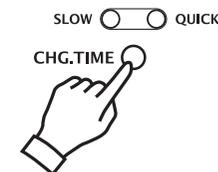


10 充電モードスイッチ

使用状況や電力事情によってブレーカー容量が不足のときは、スロー充電モードで使用することができます。

充電モード (CHG)	充電時間 50Hz/60Hz	ブレーカー容量
クイック (QUICK)	1.2 秒	20 A
スロー (SLOW)	3.2 秒	10 A

※モデリングランプ 100W × 3 本使用



11 スレーブスイッチ

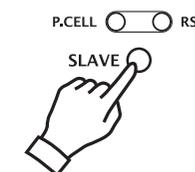
スレーブスイッチ(SLAVE)を押してカメラとのシンクロ設定を選択します。

【ご注意】

- 実際の撮影前に、カメラとのシンクロ同調テストを行ってください。

■フォトセル(P.CELL)

他のストロボ光を受けて同調発光する場合、フォトセル (P.CELL) にします。



12 ライティングパターンの登録・呼び出し

【ご注意】

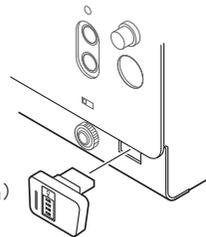
- 他のストロボが小光量の場合、又はフォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。
- 室内照明に蛍光灯を使用しているときは、フォトセル受光部を50 cm以上離してセットしてください。ストロボ光を受けず、不発光になることがあります。
- 同調発光させないときは「OFF」にしてください。「OFF」のときモードを示すランプが消灯します。

■無線シンクロ(RS)

コメットRS-発信器(別売)とコメットRSミニレシーバー(別売)を使用する場合、「RS」にします。

電源部のメインスイッチ(MAIN)を「OFF」にして、RSミニレシーバー接続コネクタにRSミニレシーバーを接続します。

RSミニレシーバー(別売品)



【ご注意】

- 同調発光をさせないときは「OFF」にしてください。
- RSミニレシーバー接続コネクタの形状寸法はUSBコネクタと同様です。RSミニレシーバー以外の機器を絶対に接続しないでください。
- RS-発信器、RSミニレシーバーの使用方法につきましては、RS-発信器、RSミニレシーバー付属の取扱説明書をご覧ください。
- RS-発信器、RSミニレシーバーは無線LANと同様に2.4GHz帯の周波数を使用しています。無線LAN環境下では、電波の混信により受信不良を起こす場合があります。その場合、チャンネルを変更して同調テストをおこなってから、ご使用ください。(使用周波数：2.427GHz～2.457GHz)

■OFF

電源部のシンクロソケットにシンクロコード(別売)や赤外シンクロ装置(別売)、RS-受信器(別売)を接続して使用する場合、「OFF」にします。(モードを示すランプが消灯します。)

【ご注意】

- 複数台を赤外シンクロ装置で使うときは、必ず各本体に1台ずつ赤外シンクロ受信器をセットしてください。フォトセルと赤外シンクロ装置の併用をすると、発光しても同調発光しないものができます。

ILS-44FS-LMには設定したライティングパターンを最大で10パターンメモリーに登録し、必要ときに呼び出せる機能があります。ロックスイッチ以外の設定がメモリーに登録されます。

■ライティングパターンを登録する

- 1.メモリー ON / OFFスイッチを「ON」にします。0～9のいずれかの数字が表示されます。
- 2.メモリースイッチ(MEMORY)を押すと、メモリー No.が切り替わります。ライティングパターンを登録する番号を表示させます。
- 3.ヘッドの位置を決め、ストロボ出力と各機能を設定します。
- 4.ライティングパターンが決定したらメモリーセットスイッチ(MEMORY SET)をボールペンなど、先の尖ったもので約3秒間押し続けてください。この間、サウンドが“ピーピー”と2回鳴り、その後“ピピッ”と短い間隔で鳴って登録が完了します。
- 5.付属のライティングデータリストに、ライティングパターンの内容を書きとめてください。

- 登録されているライティングパターンを使用しているとき、操作パネル面のスイッチ操作をすると、メモリー No.が点滅します。変更後も元のライティングパターンに戻すときは、メモリー ON / OFFスイッチをいったん「OFF」にし、再び「ON」にしてください。または、メモリースイッチ(MEMORY)を押して、再度登録したメモリー No.を表示させてください。

■登録されたライティングパターンを呼び出す

メモリー ON / OFFスイッチを「ON」にして、メモリースイッチ(MEMORY)を押して希望するメモリー No.を呼び出します。

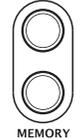
■登録されたライティングパターンを書き換える

書き換えるメモリー No.を呼び出し、前項の「ライティングパターンを登録する」の操作をします。

MEMORY



MEMORY SET
ON/OFF



MEMORY

AI IC
STUDIO

13 リモートコントロール機能

ILS-44FS-LMはRC-T2リモコン(別売)を使用することにより、登録されたライティングパターンの呼び出し、テスト発光がワイヤレスで操作可能です。

- ロックスイッチが「ON」の状態でも、RC-T2リモコンからの操作が優先されます。

■ ライティングパターンの呼び出し

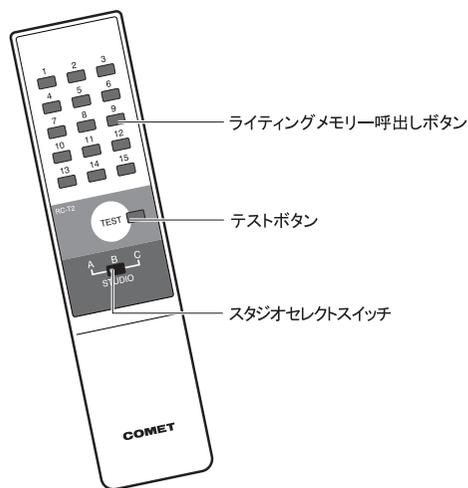
メモリーに登録した10パターンのライティングパターンをワイヤレスで切り替えることができます。メモリーを呼び出すときはリモコンのメモリー呼び出しボタン(1~10)を押して呼び出します。電源部のメモリー No.「0」を呼び出す場合、リモコンの「10」を押します。

■ テスト発光

テスト発光をするときはテストボタン(TEST)を押します。

■ スタジオセットの切換

1スペースに最高3面のスタジオセットが併設されているときなど、スタジオセレクトスイッチ(A・B・C)の切換で他のセットに影響を与えずメモリーの呼び出し、テスト発光ができます。



【ご注意】

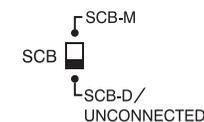
- リモコンには1~15のボタンがありますが、ライティングパターンの呼び出しは、1~10を使用します。
- スタジオセレクトスイッチは、電源部本体前面のスイッチが正しくセットされていなければ機能しません。



14 スタジオコントロールボックススイッチ

接続するスタジオコントロールボックス(SCB)に合わせて設定します。

このスイッチは電源部のリヤパネル面にあります。



- SCB-M ILS-SCB-Mと接続して使用する
- SCB-D/UNCONNECTED ILS-SCB-Dと接続して使用する、またはSCBを使用しない場合

【ご注意】

- ILS-SCB D/Mを接続しているときは、本機との間を専用のコードで接続する必要があります。接続については各SCBの取扱説明書をご参照ください。
- SCBを使用しない場合、誤ってSCB-Mに設定するとストロボの電源が入りません。

15 不発光警報

■ 充電完了後の不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、ブザーによる警報音とともに該当出力表示が点滅し、どのヘッドに不発光が生じたかを知らせます。

警報の解除はパネル面のスイッチを操作するかメインスイッチ(MAIN)をいったん「OFF」にすることで解除します。

- ブザーはサウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 充電完了前の不発光警報

充電完了前に発光操作を行ったときは、使用している全ての出力表示が点滅し、同時にブザーで知らせます。

- ブザーはサウンドモードに関係なく鳴ります。

警報の解除は、充電完了後にふたたび発光操作をして正常に発光すれば自動的に解除されます。また、パネル面のスイッチを操作するか、メインスイッチ(MAIN)をいったん「OFF」にすることで解除します。

16 過熱警報

長時間の連続発光などにより、内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、メインスイッチ (MAIN) のパイロットランプが点滅し、同時にブザーで知らせます。このときは速やかに使用を中止してください。

- ブザーはサウンドモードに関係なく鳴ります。

【ご注意】

過熱警報が働いたときは、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にし、再び「ON」にするとブザーが止まります。この状態で内蔵ファンにより電源部内の温度が下がるのをお待ちください。所定の温度以下になると、パイロットランプが点滅から点灯になり使用できる状態になりますが、完全に温度が下がったわけではありませんので連続発光はさけてください。



17 発光回数カウンター

本機のおおよその発光回数を表示します。

本機や、発光部の定期点検を相談する際の目安としてください。

●発光回数の表示方法

出力バリエーター③を押しながらメインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。

ストロボ①の出力表示に3桁の数字が表示されます。

表示数×1000がおおよその発光回数です。

たとえば、「123」と表示された場合、発光回数は約123,000回になります。

出力バリエーター③から手を離すと発光回数表示は消えます。

(発光回数が1000回未満の場合は「000」と表示されます。)

18 ヒューズ交換

該当するヒューズホルダーの蓋を⊖ドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

	ヒューズ定格
ストロボ (STROBE1・2・3)	12A
モデリングランプ (MOD)	3A

【ご注意】

- ヒューズ交換は、メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ず AC プラグをコンセントから抜いて行ってください。

19 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前に AC プラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

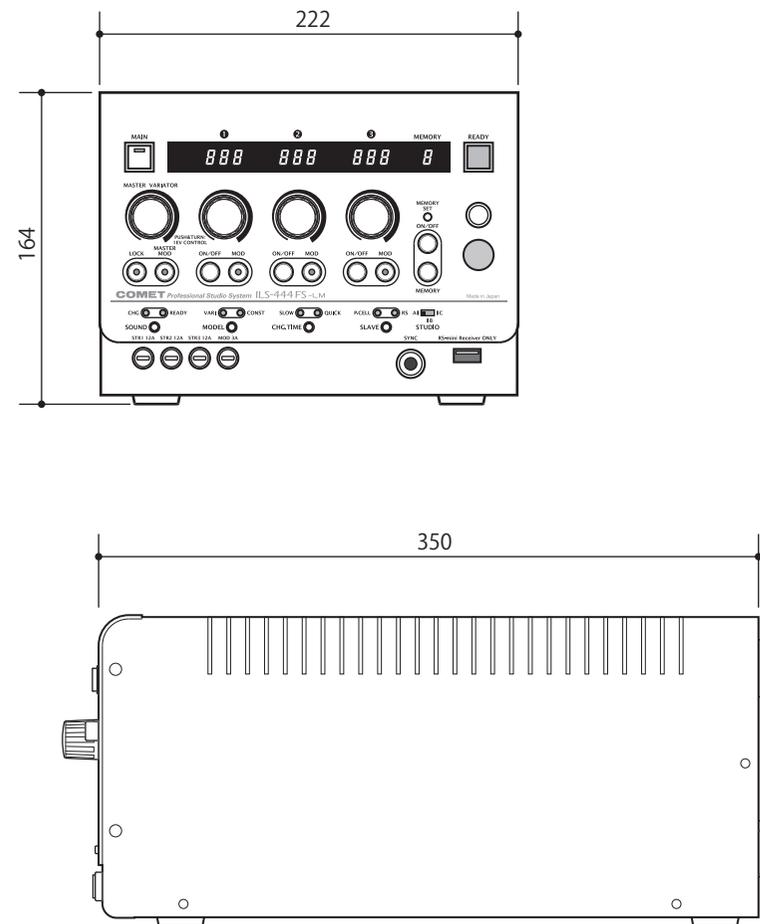
修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となる場合がありますので大切に保管してください。

20仕様

品名	ILS-444FS電源部	ILS-444FS-LM電源部
型式	ILS-444FS	ILS-444FS-LM
定格電圧	AC100V ±10% 50 / 60Hz	
ブレーカー容量	QUICK: 20A SLOW: 10A	
ヒューズ定格	ストロボ: 12A×3 モデリングランプ: 3A	
最大出力	400Ws×3回路	
充電時間	QUICK: 1.2秒 SLOW: 3.2秒(50/60Hz)	
出力灯数	3灯(Sタイプ)	
出力表示	デジタル表示	
各灯スイッチ	ストロボ、モデリングランプをON / OFFする	
ストロボ調光方式	電圧調光・シリーズカット調光	
各灯調光バリエーター	FULL~1 / 128 1 / 6EVステップ又は1EVステップ	
マスター調光バリエーター	1 / 6EVステップ又は1EVステップにて、 いずれかの出力値が最大または最小に達するとストップ	
モデリング調光モード	連動調光(VARI)*1 / コンスタント(CONST) *1 モデリングランプはストロボ出力400Wsのとき100%の明るさとして ストロボ出力に連動して調光します。1/16以下は1/16の光量で一定です。	
モデリングスイッチ	各灯モデリングスイッチONのとき、マスターモデリングランプスイッチで 全灯一括ON / OFF	
モデリングランプ定格	1回路最大100W 総合計300W	
連続発光回数	シンクロコード使用時: 調光1/128の時 最大10回/秒 RSミニレシーバー使用時: 調光1/128の時 最大8~10回/秒	
メモリー数	なし	10パターン
リモートコントロール	なし	メモリー呼び出し/テスト発光
シンクロソケット	フロントパネル ホーンジャックタイプ×1 / リアパネル ピンジャック×2	
シンクロ電圧	DC12V	
フォトセル	内蔵	
無線シンクロ	RSミニレシーバー接続コネクタ×1	
スレーブモード	フォトセル(P.CELL) / RSミニレシーバー (RS) / OFF	
オートエージング機能	メインスイッチONで約1分間作動	メインスイッチONで約20秒間作動
ディスチャージ機能	内蔵	
発光モード	使用発光部ごとの調光データ内蔵	
発光回数カウンター	内蔵	
サウンドモード	充電中音 / 充電完了音 / OFF	
不発光警報	当該出力表示点滅とブザー連続音	
過熱警報	ACパイロットランプ点滅とブザー連続音	
クーリングファン	内蔵	
スタジオコントロールボックス	ILS-SCB D / M	
寸法	222(w) × 164(h) × 350(d) mm	
重量	6.85 kg	6.88 kg



イラストはILS-444FS-LMです

●本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
なお、この仕様は2021年11月現在のものです。

MEMO

MEMO
